

野州市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の実施状況について

●令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量について

令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）は、集計の結果6,439,651kgとなり、基準年度である平成28年度（2016年度）の排出量7,169,074kgと比較して729,423kg、約10.2%の減少となりました。

<主な減少の要因>

・各公共施設におけるエアコンの設定温度の管理を徹底したこと、及び、一部公共施設の照明をLED化したことにより、電気使用量が減少したこと、並びに、市の電力供給業者の変更に伴い、電気の二酸化炭素排出係数が変更されたことによるもの。

●令和3年度実績値と基準年度との比較

	単位	平成28年度【基準年度】		令和3年度【年度実績】				
		使用量	二酸化炭素排出量(kg)	使用量	二酸化炭素排出量(kg)	差引増減	増減率	
燃 料	ガソリン	L	27,908	64,802	29,304	68,044	3,242	5.0%
	灯油	L	45,641	113,600	22,388	55,723	△57,877	△51.0%
	軽油	L	6,366	16,456	5,590	14,449	△2,007	△12.2%
	液化石油ガス(LPG)	kg	183,625	550,691	199,207	597,423	46,732	8.5%
	都市ガス	m ³	71,113	158,866	96,406	215,371	56,505	35.6%
電 気	Kwh	11,817,690	6,275,193	11,340,724	5,488,910	△786,283	△12.5%	
太陽光発電売電量	Kwh	19,839	△10,534	555	△269	10,265	97.4%	
二酸化炭素排出量合計 kg			7,169,074		6,439,651	△729,423	△10.2%	

※計画の見直しについて

令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量の実績では、令和2年（2020年）度に引き続き、基準年度である平成28年度（2016年度）と比較して、温室効果ガスの排出量が減少しています。

令和2年度（2020年度）の温室効果ガス排出量は6,755,535kgであり、基準年度比約5.8%の減少であったことから、令和3年度（2021年度）の温室効果ガス排出量は、令和2年（2020年）度比でも315,884kg、約4.7%の減少となっています。

教育施設の増設や、新型コロナウイルス感染症対策として各公共施設において定期的な換気を実施したことに伴い、空調機器の稼働率も高まることがあったにも関わらず、温室効果ガスの排出量が減少したのは、各公共施設におけるエアコンの設定温度の管理を徹底したことなどによるものと考えられます。

市では、今後もWithコロナの時代に対応した地球温暖化対策を検討し、必要に応じて温室効果ガスの削減目標の修正をするなど、積極的に計画の見直しを行っていきます。